

本展は、図書館業界のトレードショーまた図書館関連の交流会の場として1999年に始まったものです（年1回秋開催。ほか1-2日イベントを各地で開催）。国立国会図書館はじめ諸機関・諸団体また研究者・NPOや学生などからの出展や発表、また隣接領域である出版・情報・教育方面からの出展が増え続けたことで、「館種や立場を超えた参加のある、図書館界最大の情報交換の場」との評を各方面からいただき今に至ります。この趣旨性格を担保するため、図書館員・研究者・出展団体代表等で本展運営委員会を構成し、企画と運営を行っています。

◆開催目的

- ・館種と立場を超えた図書館界全体の交流・情報交換の場を提供する
- ・図書館または隣接周辺分野に関するトピック・技術・製品サービス情報について<1年分のまとめ>の役割を担う
- ・図書館界にくる新しい方々・団体にとってのガイダンスとなる
- ・もって図書館界全体の振興と発展に寄与する

◆運営

- ・運営経費は、すべてを出展者からの出展費用によって賄う。参加者から参加料は徴取しない。
- ・本展における展示や発表には、この「出展」の他、図書館・施設や個人・NPOなどを対象とした「企画参加という形での発表・展示」があり、こちらには出展費用はかからない。
- ・運営事務は株式会社カルチャー・ジャパンが行い、運営方針や実施企画の決定は上述の運営委員会で行っている。
- ・図書館にかかる諸官庁、機関、団体から後援を受け、本展運営にあたっては、後援団体が後援にあたって求める規範に遵っている。

◆開催形式

- ・〈2023年の場合〉10月24・25日〈2日間〉の会場開催、10月26日～11月15日〈21日間〉のオンライン開催。
- ・会場開催は、実会場で講演や会議、展示、交流、オンライン開催は、webサイトでの案内告知を軸として、オンラインで講演・会議・ワークショップ等や展示を行います。
- ・公式ウェブサイト <https://www.libraryfair.jp/>
- ・またこれとは別に、「会期中、図書館関係者の訪問を歓迎する」あるいは「本展参加者に向け発信する」こと内容として、これを〈会場〉とみなす「サテライト会場開催」企画も実施する〈希望施設・図書館による登録制〉
- ・参考)2019年以前は、例年3日間の会期、パシフィコ横浜を会場に、400程度の大小出展、のべ3万人の来場で開催していた。

◆出展者（2022年の例）

- ・出展数：156件〈企業・機関・団体・図書館等・NPO・研究者・個人〉
- ・イベント開催数：322件
- ・サテライト会場：38件
- ・出展者層：学術研究機関、関連学協会、図書館及び美術館の設立・運営に関連する企業（出版、印刷・製本、建築・設計、各種設備・備品・用品・装備、情報・経営管理システム関係及びソフト、通信、教育IT、人材派遣など）

◆来場者（2023年3月現在）

- ・本展アカウント登録者数：16,418件※アカウントに登録しなくても閲覧でき、多くのイベントに参加できるため、実際の参加者はこれを上回っている。
- ・本展メールマガジン受信数：37,000件※毎週木曜配信。会期中は週2回配信。
- ・来場者層：小学・中学・高等学校図書館、大学図書館、公共図書館、専門図書館、研究機関、博物館・美術館、公文書館等の関係者、司書、司書教諭、学校司書、学芸員、教職員、図書館情報学研究者、行政職員、図書館関連及び一般企業、

学生、各種図書館利用者

◆後援一覧

・総務省／文部科学省／経済産業省／国立国会図書館／国立公文書館／科学技術振興機構／国立情報学研究所／神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／日本図書館協会／図書館振興財団／専門図書館協議会／神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会／神奈川県資料室研究会／国立大学図書館協会／私立大学図書館協会／国公立大学図書館協会委員会／全国学校図書館協議会／公立大学協会図書館協議会／私立短期大学図書館協議会／音楽図書館協会／日本医学図書館協会／日本薬学図書館協議会／日本農学図書館協議会／日本書籍出版協会／知的資源イニシアティブ／日本文藝家協会／福島県公共図書館協会／栃木県図書館協会／群馬県図書館協会／埼玉県図書館協会／東京都図書館協会／新潟県図書館協会／石川県図書館協会／福井県図書館協会／山梨県公共図書館協会／長野県図書館協会／静岡県図書館協会／愛知県図書館協会／大阪公共図書館協会／奈良県図書館協会／和歌山県公共図書館協会／鳥取県図書館協会／岡山県図書館協会／広島県公共図書館協会／鹿児島県図書館協会*順不同

◆本件についての担当

図書館総合展運営委員会事務局

長沖竜二

Tel:03-6766-1465

Mail:nagaoki@j-c-c.co.jp